



高校生へ、最先端の学びの場の提供 ～メタバースを活用した次世代教育プログラムの产学連携協定の締結～ (大阪府立工芸高等学校・近鉄不動産)

大阪府立工芸高等学校（所在地：大阪市阿倍野区、校長：角芳美）と近鉄不動産株式会社（本社：大阪市天王寺区、取締役社長：倉橋孝壽、以下、「近鉄不動産」という。）は、メタバースを活用した产学連携協定（以下「本協定」という。）を締結しました。本協定に基づき、2026年3月より、同校の「インテリアデザイン科」において、メタバースを活用した教育プログラムを新たに導入します。

本取組みは、急速に発展するデジタル社会において、次世代を担う生徒がメタバース空間におけるデザインや空間創造のスキルを実践的に習得し、新たな表現手法やビジネスモデルを学ぶことを目的としています。大阪府立工芸高等学校が持つ先進的なデザイン教育に、近鉄不動産が長年培ってきたリアルの不動産開発やバーチャルの空間デザインの知見を提供することで、生徒が実践的かつ最先端の学びの機会を得ることが期待されます。

本教育プログラムの試験的な取組みとして、2026年1月16日（金）、2025年度に生徒が制作した作品をメタバース空間に展示するイベントを実施します。

そして、2026年3月からは、より本格的な年間教育プログラムとして実践的な学びの機会を提供します。

＜教育プログラム概要（予定）＞

1. 近鉄不動産のマンションモデルルームでの講義

生徒が実物に触れることを目的として、実際に使用するマンションモデルルームにて、色彩や素材、光の使い方など実践的なインテリア知識に加え、顧客視点、市場ニーズを学ぶ機会を提供します。

2. メタバース導入レクチャー

メタバースの基礎学習を目的として、近鉄不動産が運営する「バーチャルあべのハルカス」（クラスター株式会社が提供するメタバースプラットフォーム）を生徒が使用することで、機能や可能性を体験します。

3. 「バーチャル展覧会」イベントの実施

教育プログラムの集大成として、2027年1月に、生徒が制作した作品をメタバース空間に展示する「バーチャル展覧会」を開催し、企画力、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

大阪府立工芸高等学校と近鉄不動産は、本協定を契機に、教育現場における最新技術の活用を一層推進し、未来を担う若者の育成と、社会を豊かにする新たな価値創造に貢献してまいります。

詳細は別紙をご参照ください。



【授業の様子】



【「バーチャル展覧会」イベント（イメージ）】

1. 大阪府立工芸高等学校について

大阪府立工芸高等学校は、2023年に創立100周年を迎えた長い歴史を持った「デザインと美術」を専門とする高等学校です。デザイン、美術、造形分野を中心に多くの才能を世に輩出してきた歴史と伝統を大切にするとともに、新時代に求められる豊かな美的感覚と確かな技術の育成のため専門性の高い最新の施設・設備を設置し、充実した教育活動を行なっています。その中でもインテリアデザイン科は家具やディスプレイ、設計などのデザイン教育に加え、2024年度から最新のデジタル技術であるメタバースを取り入れ、生徒たちの創造性や技術力を高めるための先進的な教育を推進しています。



【大阪府立工芸高等学校】

2. メタバース空間「バーチャルあべのハルカス」について

「バーチャルあべのハルカス」は、クラスター株式会社が提供するメタバースプラットフォーム上に、近鉄不動産が所有・運営する高さ300mの超高層複合ビル「あべのハルカス」と、近鉄不動産が大阪市との協定に基づき管理運営する天王寺公園エントランスエリア「てんしば」をメタバース空間に構築したもので、2023年3月にオープンしました。他にも、アクティビティリゾート施設を再現した「バーチャル志摩グリーンアドベンチャー」や、天王寺動物園公認のワールド「バーチャル天王寺動物園」をお楽しみいただいております。



【バーチャルあべのハルカス】

3. メタバース空間へのアクセス方法

- ① パソコンまたはスマートフォンからクラスター公式HP (<https://cluster.mu/>) にアクセスし、アプリケーション「cluster」をダウンロードします。
- ② 画面の案内に従い、アカウント登録します（無料）。
- ③ ログイン後、「バーチャルあべのハルカス」、もしくは「大阪府立工芸高等学校」のワールドを検索し参加します。



【cluster公式HP】

以 上